



「正人くん、ありがとう  
おじいちゃん本当に  
良い友達もったよ」

**文部科学省選定**  
優秀映画鑑賞会推薦  
青少年育成国民会議推薦  
映倫青少年映画審議会推薦  
厚生省中央児童福祉審議会推薦



# カラー作品 おじいちゃん げんき 元気になつてね!

プロデューサー 菅田 浩 / 横手 勝弘 / 八頭司 重信  
照明 竹山 直行 録音 竹中 直 美術 福田 弘  
記録 岡崎 洋子 編集 玉木 浩夫 監音 栗山日出登

■製作 共和教育映画社 ■製作協力 東映京都撮影所 / 映画村エンタープライズ / 宝塚映像株式会社

企画・製作 八頭司 享  
監督 荒井 岱志  
音楽 菊池 俊輔  
脚本 高橋 稔

動物好きの心やさしい少年と  
頑固じいさんとの心のふれあいを  
明るい笑いと涙で綴った感動の劇映画!!



おじいちゃん 多々良 純  
上杉先生 神山 繁  
正人 安楽 太一  
お母さん 野口 ふみえ  
麗子 吉本 真由美  
松岡先生 三田 篤子  
釣り人 岡 八郎  
院長先生 葉山 良二  
おばあちゃん 桜 かつ子

《カラー作品》

# おじいちゃん

企画・製作/八頭司 享

## げんき 元気になってね!

監督  
荒井 岱志

上映時間 47分 販売価格 ¥370,000 (FL官庁)

音楽	菊池 俊輔	撮影	羽田 辰治
脚本	高橋 稔	照明	竹山 直行
プロデューサー		録音	竹中 直
	管田 浩	美術	福田 弘
	横手 勝弘	記録	岡崎 洋子
	八頭司重信	編集	玉木 浩夫
		整音	栗山日出登

### 文部科学省選定

優秀映画鑑賞会推薦

青少年育成国民会議推薦

映倫青少年映画審議会推薦

厚生省中央児童福祉審議会推薦



世代的な思いやりとやさしさとは  
熱い涙と感動を生んだ!!

### 出演

- 多々良 純
- 神山 繁
- 安楽 太一
- 野口ふみえ
- 吉本真由美
- 三田 篤子
- 岡 八郎
- 葉山 良二
- 桜 むつ子

### 《あらすじ》

小学校4年生の菊地正人(安楽太一)は、動物好きの心やさしい男の子です。学校へ行く途中、いつも公園をきれいに掃除している光枝(桜むつ子)ばあさん、その近くには、頑固者で気難しい顔の伸二郎(多々良純)じいさんがいます。

ある日、正人は友だちと釣りに出かけ、傷を負った一羽の鳩を見つけました。その時偶然、あの伸二郎じいさんが居合わせ、鳩の傷は、近くで魚釣りをしている人(岡八郎)のせいだと決めつけます。正人の前で釣り人に説教をしていたおじいさんは突然、黙り込んでフラフラと倒れてしまいました。驚いた釣り人と正人は救急車を呼び、正人は病院まで付き添って行きました。ところが病院に着くと、おじいさんはとても診察を嫌がり、帰ると言ってきた。救急車から連絡を受けて駆けつけた娘の麗子(吉本真由美)は、「年寄は家でおとなしくしてればいいのに」と叱りつけます。その様子を見ていた正人は、「おじいさん、叱られてかわいそうだなあ」と思いながら家に帰りました。鳩の傷の処置をして餌をあげましたが、元気がない鳩は全く食べません。家では他にもシマリスや小鳥・金魚たちを飼っており、おまけに成績が落ちたことからお母さん(野口ふみえ)は鳩を飼うことに反対します。

学校からの帰り道、お年寄がゲートボールをしているのを見かけました。辺りを見渡すと公園はゴミだらけです。その中に光枝ばあさんと伸二郎じいさんの姿がないのに気づきました。正人は気にしながら『ひょっとしてあのおじいさんなら、この鳩を預ってくれるかもしれない……』と思い、おじいさんの家まで行きました。が、麗子の話では今朝方手足がしびれて入院したとのことです。心配になった正人は、次の日病院へ訪ねて行きました。大変喜んだおじいさんは、正人から鳩のことを聞いて、院長(葉山良二)先生にこの部屋で飼うことをお願いしましたが、当然許可が下りるわけがありません。正人は「大丈夫です。僕が何とか元気になってみせます」と、おじいさんを元気づけました。

学校では、ホームルームの時間に、千鶴(4年生)が伸二郎じ

いさんを始め、体の不自由な方たちのお見舞に行こうという案を出し、全ての人が楽しめるもの、ということから、クラス自慢のプラスバンドでお見舞に行くことに決定しました。早速、松岡(三田篤子)先生と正人の二人は病院に許可をもらいに出かけました。その時、大部屋で、掃除をしていたあの光枝ばあさんも入院していたのです。

そして、お見舞の日が来月の日曜日に決まり、早速プラスバンドの練習が始まりました。練習中、いたずらっ子の猛志(4年生)と雄二(4年生)が邪魔をしに来たりしましたが、音楽担当の上杉(神山繁)先生も応援してくれ、みんなは一生懸命練習を続けました。何日が経ち、正人はおじいさんのことが気になり、千鶴とユカの二人で鳩を持って病院へ行き、窓の外から呼びました。「おじいちゃん、鳩がこんなに元気になったよ」千鶴もユカも「おじいちゃん、早く元気になってね」と……。それを見たおじいさんは、子供たちの暖かい心に胸を打たれ、眼に涙がにじんできました。

そしてとうとう、お見舞の日がやってきました。麗子とその夫に手を引かれて歩いてきた伸二郎じいさんを始め、たくさんのお客さんが見物に出てきています。その時、音楽が聴こえてきました。プラスバンドのみんなの顔が輝いています。「おじいちゃん元気になってね」のプラカードを先頭に、ユカ、正人、4年2組のみんな元気よく行進しています。

寝たきりで入院しているあの光枝ばあさんの耳にも聴こえてきました。いたずらっ子の猛志と雄二がやって来て、ジュースの缶を片手にアナウンスを始めました。「ふるさと」の曲が流れる中、二人はおばあさんの涙を見ながら心やさしい少年になろうと決心するのです。みんなが喜びと感謝の涙を流す中、子供たちの演奏会が終わりました。

翌日、猛志と雄二を中心に、クラスみんなで公園の掃除を始めました。そして、すっかり元気になった鳩は、子供たちが見守る中、正人の温かい手から天空へはばたいていきました。空を舞う鳩を見ながら、みんなは盛大な拍手をいつまでもいつまでも贈り続けるのでした。

## KYOWA FILM 共和教育映画社

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路6-4-111 延原倉庫淡路物流センター

TEL 06-6322-1800 FAX 06-6322-2255